

干蒲地区ぐるみ講座

25年以上も地区ぐるみ講座を続けてこられた秋葉分館長さん(干蒲)に、そのヒケツを伺いました。

干蒲分館長 秋葉 久義

干蒲地区では毎年、「健康まつり」と題して地区ぐるみ講座を行っています。今年は、保健師さんと湯原駐在さんを講師に迎え、NPO水守の郷の方や元気な地域づくり干蒲担当職員5名、干蒲地区民も合わせて総勢37名で開催しました。干蒲地区出身で現在は山形県在住の方も講座を盛り上げようと、尺八の披露に駆けつけてくれました。

以前は「さなぶり大会」と言う名称でしたが徐々に稲作農家が少なくなったことから、10年前に「健康まつり」としました。「さなぶり」から数えると25年以上続けてきた地区ぐるみ講座です。長く続いた理由の一つに、【行事にはなんにでも参加して連帯感を深める】という干蒲地区民の思いがあります。干蒲分館の基本理念は、①あつまる(公民館にみんなが集まる)②まなぶ(そこで何かひとつでもプラスになることを勉強する)③むすぶ(地区民の連帯を深める)です。干蒲ならではの地域の宝物をいかして、地区が活性化するようにこれからも頑張りたいと思います。



公民館だより

TEL 37-2195

わんぱく探検スクール

通学合宿で楽しく学びました

3年生以上の小学生を対象に6月13日から18日まで峠田公民館で通学合宿を開催しました。集団生活を体験すると同時に、高島町の温泉や町内の家庭にお願いしての「もらい湯」、ナイトハイクにお楽しみ会など様々な生活体験をしました。

16日のナイトハイクでは泣き出す子供もいましたが、戻ってくると「怖かったけどおもしろかった」と笑顔を見せていました。また、17日のさばカン(アフリカンドラム)の演奏会では、みんなでリズムに合わせて踊り、アンコールが出るほど盛り上がりました。

5泊6日の集団生活の中で互いに協力し合い、共に笑い、時には喧嘩もしましたが親元を離れることで子供達も少し大人になったかなと感じました。

6年生は今年で参加は最後ですが、中には「今度はジュニア・リーダーとして通学合宿に参加します。」と話してくれた子供もいて、またいつか、一緒に通学合宿をするのが楽しみです。来年も、もっと楽しい内容を考えて子どもたちを楽しませたいと思います。



ファミリーのお話し ABC



Ten Things I Will Miss When I Leave Japan 日本を去ったら恋しくなる10のこと

- | | |
|--|--|
| 10. Having time to relax my mind and think | 10. ゆっくりリラックスして考えたり落ち着いたりする時間 |
| 9. Walking to work | 9. 歩いて仕事に行くこと |
| 8. Seeing mountains all around me | 8. 私の周りにあった山を眺めること |
| 7. Seeing men carry their girlfriend or wife's purses | 7. 彼女や奥さんのお財布を持ってあげる男性を見ること |
| 6. Seeing male students be very friendly with each other and it's okay | 6. 男の子の生徒同士がとっても仲良しでよかったこと |
| 5. Mrs. Takahashi for helping to organize my first Eikaiwa class and being one of my great supervisors | 5. 高橋さんは私の初めての英会話教室を開いてくれて、最高の担当者でした! |
| 4. Hiromi Takahashi, the former Shichikashuku Junior high school student, for being the first and only student who introduced herself to me when I arrived at school. I will always remember that. | 4. セケ宿中学校の卒業生、高橋広美さんが、私が初めて学校に行ったときに、唯一自己紹介してくれたこと。決して忘れません。 |
| 3. The wonderful and beautiful nature in Shichikashuku town | 3. すばらしくて素敵なセケ宿町の自然 |
| 2. School lunch | 2. 学校の給食 |
| 1. Shichikashuku people who were brave enough to speak to me when they saw me and those who were brave enough to attend my events | 1. 会ったら声をかけてくれたり、時には私の企画したイベントにも参加してくれたセケ宿町の人たち |

Location change: My 34th birthday and sayonara gathering will be at Mizumorinosato. Friday, July 9th from 6 p.m. through Saturday morning at 9 a.m. Please bring a homemade meal and beverage to share.

場所が変わりました: 私の34歳の誕生日、そしてさよならパーティーを水守の郷で行うことになりました。7月9日(金)午後6時から土曜日の朝9時までです。家庭料理や飲み物を御持参下さい。

My last plead: Shichikashuku town please make the new ALT (Neil Anderson) feel welcome from the first day he arrives until the day he leaves to go back to his country. All you have to do is say "Hello" every time you see him.

最後のお願い: セケ宿町のみなさん、新しいALT(ニールアンダーソン)を初日から歓迎してあげてください。そして、帰国する日まで、町に温かく迎えてください。会ったときに、「ハロー」と声をかけるだけでいいのです。

I GO BACK TO AMERICA JULY 16th!

7月16日にアメリカへ帰ります!